

平成28年度第6回教育研究評議会議事録

日時 平成28年9月21日(水) 14:30～17:25 TV会議
場所 事務局棟5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木滋、今野、寺村、菅野、谷、酒井、西原、塩尻、加藤、佐古、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、朴、澤田の各評議員
欠席者 中山委員(犬塚教授代理出席)
陪席者 鈴木庸監事、阿部、瓜谷、木村の各学長補佐

議事に先立ち、中山委員の代理出席の犬塚教授に審議事項13 静岡大学長選考会議委員の選出の投票権があることを確認した。

I 前回議事録の承認について

平成28年度第5回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学自家用電気工作物保安規程の一部改正について

前田委員から、電気事業法施行規則の改正、静岡国際交流会館の移転等に伴う静岡大学自家用電気工作物保安規程の一部改正について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学における研究活動上の不正行為に関する取扱規則の一部改正について

木村委員から、研究活動における不正行為等への対応に関するガイドラインの改正に伴う静岡大学における研究活動上の不正行為に関する取扱規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学未来創成基金規則の一部改正について

前田委員から、所得税法等の一部を改正する法律により所得税の税額控除制度導入に伴う静岡大学未来創成基金規則の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

寺村委員から、学部の寄附金についても税額控除の対象になるのか質問があり、前田委員から、本規則に基づく寄附についてのみが税額控除の対象になる旨、回答があった。

なお、議長から、本規則の適用は平成28年1月1日に遡るため、平成28年1月1日以降の寄附が対象になる旨、説明があった。

4 静岡大学IR室規則の制定について

東郷委員から、静岡大学IR室の設置に伴う規則の制定について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、東郷委員から、地域創造学環は主担当の教員が少数のため、平岡委員と協議し、当初は第9条第8号を適用とする委員として参加する旨、説明があった。

また、創造科学技術大学院も当初は第9条第8号を適用とする委員として参加することとした。

原委員から、構成員には専門家がいるのか質問があり、東郷委員から、学外者を雇用する余裕はないため教職員のみで構成する旨、回答があった。

原委員から、IR室を設置することにより、これまでとどのように変わるのか質問があり、各部署が持っているデータを集約することにより、各種調査毎に照会をしていた手間が軽減されること等が想定される旨、回答があった。

5 静岡大学研究戦略室規則の制定について

木村委員から、静岡大学研究戦略室の設置に伴う規則の制定について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、木村委員から、静岡大学教育研究プロジェクト推進室は平成29年3月31日に廃止する旨、説明があった。

澤田委員から、第9条による研究力強化検討会議の構成員に研究戦略室長が含まれてなく、第10条により委員の互選で研究力強化検討会議の議長を選出することになっているが、研究戦略室長は研究力強化検討会議の構成員とし、研究力強化検討会議の議長とした方がよいのではないかとの意見があり、木村委員から、研究戦略室長がコントロールするのではなく、若手教員が自由に議論できるようにしたいと考えているので、第9条第2号を適用して研究戦略室長は研究力強化検討会議に出席するが、議長は若手教員が務めるようにしたい旨、回答があった。

6 静岡大学全学アジアブリッジプログラム委員会規則の制定について

石井委員から、静岡大学全学アジアブリッジプログラム委員会の設置のための静岡大学全学アジアブリッジプログラム委員会規則の制定について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 静岡大学農学総合棟プロジェクト実験室管理運営規則等の制定について

前田委員から、静岡大学農学総合棟プロジェクト実験室の管理運営のための規則等の制定について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 静岡大学個人情報管理規則の一部改正について

前田委員から、静岡大学地域創造学環の創設等に伴う静岡大学個人情報管理規則の一部改正について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 静岡大学個人情報開示請求等に関する取扱規則の一部改正について

前田委員から、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴う静岡大学個人情報開示請求等に関する取扱規則の一部改正について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 0 静岡大学情報公開取扱規則の一部改正について

前田委員から、行政不服審査法等の改正に伴う静岡大学情報公開取扱規則の一部改正について、資料10により提案により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 1 平成28年熊本地震で被災した入学志願者の検定料の特別措置について

石井委員から、平成28年熊本地震で被災した入学志願者の検定料の特別措置について、資料11により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、石井委員から、災害毎に特別措置を検討するのではなく、他大学の例に倣い、激甚災害に指定された場合は特別措置とするように規定の検討を進めたい旨提案があり、審議の結果、了解した。

1 2 スウィンバーン工科大学（オーストラリア）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、スウィンバーン工科大学（オーストラリア）との大学間交流協定の締結について、資料12により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、鈴木委員から、大学間交流協定は複数部局が交流する場合は締結し、一部局が交流する場合は部局間交流協定としているが、総合科学技術研究科は4研究科が統合したので、総合科学技術研究科のみが交流する場合の取扱をどのようにするか今後、検討したい旨、説明があった。

寺村委員から、本学は一部局で、相手が複数部局の場合は部局間交流協定としているが、相手方が望む場合等は大学間交流協定にできないかとの質問があり、本学が一部局でも相手が大学間交流協定を望む場合等、柔軟に対応したい旨、回答があった。

1 3 静岡大学長選考会議委員の選出について

議長から、静岡大学長選考会議委員の欠員に伴う委員の選出について、資料13により説明があり、投票を実施した結果、三村委員を選出した。

なお、議長から、学長選考会議委員を辞任してから新委員を選出する本会議まで時間が掛かってしまうのは問題があるため、委員の補欠の在り方、辞任の時期について、学長選考会議に検討するように伝える旨、説明があった。

1 4 学生の懲戒について

丹沢委員から、学生の懲戒（2件）について、別添資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 平成28年度第5回臨時企画戦略会議(平成28年8月3日)報告

議長から、平成28年度第5回臨時企画戦略会議(平成28年8月3日)について、資料14により報告があった。

2 平成28年度第6回企画戦略会議(平成28年9月7日)報告

議長から、平成28年度第6回企画戦略会議(平成28年9月7日)について、資料15により報告があった。

3 学生の個人情報を含む書類の紛失事案を踏まえた対応について

前田委員から、学生の個人情報を含む書類の紛失事案を踏まえた対応について、資料16により説明があり、議長から、各部局において点検し、再発防止に努めるように依頼があった。

4 静岡大学東京事務所賃貸借契約の更新について

木村委員から、静岡大学東京事務所賃貸借契約の更新について、資料17により報告があった。

5 環境報告書2016について

丹沢委員から、環境報告書2016について、資料18により報告があった。

6 ベトナム教育訓練省国際教育開発局（ベトナム社会主義共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、ベトナム教育訓練省国際教育開発局（ベトナム社会主義共和国）との大学間交流協定の締結について、資料19により報告があった。

7 キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）との部局間交流協定の締結について、資料20により報告があった。

8 アジアブリッジプログラム（ABP）に係る入試実施状況について

鈴木委員から、アジアブリッジプログラム（ABP）に係る入試実施状況について、資料21により報告があった。

9 博士課程学生・ポスドクのキャリアパスについての教員アンケートについて

丹沢委員から、博士課程学生・ポスドクのキャリアパスについての教員アンケートについて、資料22により報告があった。

10 教員採用等報告について

議長から、学術院の教育学領域1名、情報学領域1名及び工学領域2名の教員の採用等について、資料23により報告があった。

IV その他

1 情報セキュリティ・個人情報保護に関する講演会等の開催について

東郷委員から、情報セキュリティ・個人情報保護に関する講演会等の開催について、資料24により案内があった。

2 平成30年度大学院改組について

石井委員から、平成28年9月13日に文部科学省へ往訪し、相談した平成30年度大学院改組について、資料25により説明があった。

石井委員から、これに基づき平成28年10月5日に開催するワーキンググループで検討し、10月上旬に再度、文部科学省へ往訪したい旨、説明があった。

(文部科学省からの主な指摘事項)

- 光産業創成大学院大学との関連性について説明を要する。
- 学生定員増の根拠。
- 専攻名については検討を要する。
- 総合科学技術研究科を設置してから修了生を輩出していないのに改組する理由。
- 山岳科学コースは難しい。

3 学生生活に対するフォローアップ体制について

丹沢委員から、学生生活に対するフォローアップ体制について、資料26により説明があり、他部局を参考にして対応するように依頼があり、議長から後学期が始まる時期は大事なので各部局遺漏なく対応するよう依頼があった。

以 上